

下水道事業評価(令和3年度)

担当課

下水道維持課

1 事業情報

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施策	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きよの地震対策としては埼玉県流域幹線に直接流入している主要幹線管きよの診断を行います。 ・マンホール浮上防止対策は主に練馬川口線、さいたま草加線道路等115基のマンホール診断を行います。							
期間	令和3年4月	～	令和4年3月					
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	64,556	44,456	20,100	61,171	43,263	17,908	95%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	64,556	44,456	20,100	61,171	43,263	17,908	95%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費			5,293	5,293			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	上半期中に予定している調査・設計委託は全て契約または発注手続きを行いました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	今年度に予定していた、マンホール浮上防止調査115基、管きよ耐震診断2,310m、マンホール浮上防止対策実施設計25基、管更生実施設計78mを予定通り発注し、達成しました。			
	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度C～Eの理由				

5 指標

指標				R1	R2	R3	R4
指標名	汚水管渠更生工事(地震対策)	単位	m	目標値	525	112	-
算出式・根拠				実績値	523	110	-
指標名	マンホール浮上防止工事	単位	基	目標値	14	-	-
算出式・根拠				実績値	14	-	-
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上で課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	耐震化は、交通量が多く布設替えの難しい幹線道路での工事が多く、管内の水量や破損状況により、管更生が難しい場合があるため、事業を効率よく進められるよう、新しい工法について調査、研究を行っていきます。	現状維持で継続